

■殺虫剤：農業用

ピレスロイド系

アディオ[®]乳剤

登録番号：15957

毒性：一

消防法：第2石油類

有効年限：5年

成分 ベルメトリン……20.0%

物理的・化学的性状 淡黄色澄明可乳化油状液体

包装：100ml×60 500ml×20

◆特長

- 広範囲の害虫に有効です。また、従来の殺虫剤に対して感受性の低下したアブラムシ類、コナガなどに対しても高い効果を発揮します。
- 本剤は速効性、残効性に優れています。
- 特異な忌避作用（産卵抑制、寄生阻害、摂食阻害など）で作物を守ります。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ベルメトリンを含む 農業の総使用回数	
なし	アブラムシ類	2,000～	200～700ℓ / 10a	収穫前日 まで	2回 以内	散布	2回以内	
	シンクイムシ類	3,000倍						
もも	ハマキムシ類	2,000倍		収穫7日前 まで	6回 以内		3回 以内	3回以内
	カメムシ類							
	カメムシ類	2,000～						
	シンクイムシ類	3,000倍						
ネクタリン	アブラムシ類	2,000～		収穫前日 まで	2回 以内		5回 以内	5回以内
	モモハモグリガ	4,000倍						
	ハマキムシ類	3,000倍						
	カメムシ類	2,000倍						
うめ	シンクイムシ類	2,000～		収穫7日前 まで	2回 以内		5回 以内	5回以内
	アブラムシ類	3,000倍						
	モモハモグリガ	2,000～						
	カメムシ類	4,000倍						
かき	アブラムシ類	3,000倍	収穫7日前 まで	2回 以内	5回 以内	5回以内		
	カキノヘタムシガ	2,000～						
	チャノキイロアザミウマ	3,000倍						
キウイフルーツ	カメムシ類	2,000倍	羽化脱出期 但し収穫 14日前まで	2回 以内	5回 以内	5回以内		
	カキクダアザミウマ	2,000倍						
	キイロマイコガ	2,000～						
くり	キイロマイコガ	3,000倍	収穫14日前まで	2回 以内	5回 以内	5回以内		
	カメムシ類	2,000倍						
	クリタマバチ	1,000～						
	クリシギゾウムシ	2,000倍						

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペルメトリンを含む 農業の総使用回数	
か ん き つ	ミカンハモグリガ アブラムシ類	2,000～ 4,000倍	200～700 ℓ / 10 a	収穫14日前 まで	6回 以内	散布	6回以内	
	チャノキイロアザミウマ	2,000～ 3,000倍						
	カメムシ類							
い ち じ く	アザミウマ類 アブラムシ類	2,000倍		収穫前日 まで	2回 以内			2回以内
	イチジクヒトリモドキ	3,000倍						
は ま な す (果 実)	シンクイムシ類	2,000倍		収穫7日前 まで				
さ る な し	キイロマイコガ			収穫14日前 まで				
ア ロ ニ ア	シンクイムシ類	3,000倍		収穫3日前 まで				
ハ ス カ ッ プ	ハマキムシ類 アブラムシ類	2,000～ 3,000倍		収穫14日前 まで	4回 以内		4回以内	
と う も ろ こ し	アワノメイガ	2,000倍		100～300 ℓ / 10 a	収穫14日前 まで		4回 以内	4回以内
	アブラムシ類	3,000倍						
き ゆ う り	オンシツコナジラミ アブラムシ類 ウリハムシ	2,000～ 3,000倍	収穫前日 まで		3回 以内	3回以内		
	ズッキーニ		アブラムシ類 フキノメイガ				収穫7日前 まで	
に が う り	アブラムシ類 カメムシ類 タバコカスミカメ ヨトウムシ類 フキノメイガ		収穫前日 まで					
	す い か メ ロ ン か ぼ ち ゃ い ち ご		アブラムシ類		3,000倍	5回 以内	5回以内	
					2,000～ 3,000倍			
ご ぼ う	3,000倍		収穫7日前 まで					
葉 ご ぼ う			3,000倍		収穫14日前 まで	2回 以内	2回以内	
キ ャ ベ ツ	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ		2,000倍		収穫3日前 まで	5回 以内	5回以内	
	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			収穫7日前 まで				

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペルメトリンを含む 農業の総使用回数
だいこん	アオムシ コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ	2,000倍	100～300ℓ/ 10a	収穫30日前 まで	4回 以内	散布	4回以内
	アブラムシ類	2,000～ 3,000倍					
茎ブロッコリー	アオムシ	2,000倍		収穫7日前 まで	3回 以内		3回以内
ブロッコリー カリフラワー	コナガ	2,000～ 3,000倍		収穫3日前 まで	5回 以内		5回以内
	アブラムシ類						
なばな	コナガ	2,000倍		収穫14日前 まで	3回 以内		3回以内
しろな	アオムシ	2,000～ 4,000倍		収穫7日前 まで	2回 以内		2回以内
みずな	アブラムシ類 ダイコンハムシ ヤサイゾウムシ	3,000倍		収穫14日前 まで	1回		1回
レタス	アブラムシ類 ヨトウムシ	2,000～ 3,000倍		収穫7日前 まで	5回 以内		5回以内
リーフレタス				収穫14日前 まで	2回 以内		2回以内
トレビス	アブラムシ類	3,000倍		収穫7日前 まで	3回 以内		3回以内
たまねぎ	アザミウマ類 ネギコガ ハスモンヨトウ				5回 以内		5回以内
	ねぎ				アザミウマ類 ネギコガ シロイチモジヨトウ		3回 以内
にんにく		アブラムシ類		2,000～ 3,000倍	収穫前日 まで		2回 以内
	ネギコガ	2,000倍					
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ	2,000～ 3,000倍	収穫14日前 まで	3回 以内	3回以内		
	カメムシ類	3,000倍					
	ヨトウムシ アブラムシ類	2,000倍					
豆類 (未成熟、ただし、 さやいんげん、 さやえんどう、 未成熟そらまめ を除く)	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウラナミシジミ	3,000倍	収穫7日前 まで	3回 以内	3回以内		
未成熟そらまめ	アズキノメイガ マメシンクイガ						

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペルメトリンを含む 農業の総使用回数		
さやいんげん	カメムシ類 アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウラナミシジミ アズキノメイガ マメシクイガ	3,000倍	100~300ℓ/ 10a	収穫14日前 まで	3回 以内	散布	3回以内		
	さやえんどう			ナモグリバエ ヨトウムシ類 ウラナミシジミ				収穫前日 まで	
	ほうれんそう			アブラムシ類 ハクサイダニ	収穫21日前 まで			2回 以内	2回以内
	ハ コ ベ			オオタバコガ				1回	1回
だ い ず	マメシクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ フタスジヒメハムシ マメハンミョウ	24倍	0.8ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回 以内	無人ヘリコプター による散布	3回以内		
	マメシクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ								
あ ず き	アズキノメイガ	2,000倍	100~300ℓ/ 10a	収穫5日前 まで	2回 以内	4回以内 (乳剤は2回以内、 粒剤は2回以内)			
そらまめ	アブラムシ類	3,000倍							
し そ	ハスモンヨトウ アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	4,000倍							
ト マ ト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	2,000~ 3,000倍	100~300ℓ/ 10a	収穫5日前 まで	3回 以内	散布	3回以内		
ミニトマト		3,000倍						1回	1回
な す	アブラムシ類	2,000~ 3,000倍						収穫前日 まで	3回 以内
	オンシツコナジラミ テントウムシダマシ類 カメムシ類	2,000倍							
	ピ ー マ ン	アブラムシ類	2,000~ 3,000倍	5回 以内	5回 以内	5回以内			
タバコガ カメムシ類		2,000倍							
とうがらし類		アブラムシ類	2,000~ 3,000倍				収穫7日前 まで	2回 以内	2回以内
	タバコガ	2,000倍							
ばれいしょ	アブラムシ類	2,000~ 3,000倍	100~300ℓ/ 10a	収穫14日前 まで	4回 以内	4回以内			
	テントウムシダマシ類	3,000倍							

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	ペルメトリンを含む 農業の総使用回数	
やまのいも	アブラムシ類 ヤマノイモコガ アザミウマ類	2,000～ 3,000倍	100～300ℓ/ 10a	収穫7日前 まで	5回 以内	散布	5回以内	
てんさい	ヨトウムシ	2,000倍		収穫21日前 まで				
さといも	ハスモンヨトウ	3,000倍		収穫7日前 まで	2回 以内		2回以内	
	アブラムシ類 スズメガ類							
さといも (葉柄)	ハスモンヨトウ	2,000倍			5回 以内		5回以内	
	アブラムシ類							
かんしょ	イモコガ	3,000倍			収穫前日 まで		3回 以内	3回以内
オクラ	ハスモンヨトウ アブラムシ類 カメムシ類	2,000倍			収穫7日前 まで		2回 以内	2回以内
	ヨトウムシ			2回 以内	2回以内			
食用ゆり	アブラムシ類	3,000倍		収穫前日 まで	5回 以内		5回以内	
食用亜麻	ヨトウガ	2,000倍		収穫14日前 まで	2回 以内		2回以内	
	アブラムシ類			収穫3日前 まで	3回 以内		3回以内	
しゅんぎく	アブラムシ類 ハクサイダニ	4,000倍	収穫21日前 まで	2回 以内	2回以内			
茶	チャノコカクモンハマキ	2,000倍	200～400ℓ/ 10a	摘採14日前 まで	1回	1回		
	チャノミドリヒメヨコバイ	2,000～ 3,000倍						
	チャノホソガ							
	チャノキイロアザミウマ							
花き類・ 観葉植物 (はぼたんを 除く)	アブラムシ類	2,000～ 4,000倍	100～300ℓ/ 10a	発生初期	6回 以内	6回以内		
	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2,000倍						
	アブラムシ類	2,000～ 4,000倍						
はぼたん	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類 アオムシ	2,000倍	200～700ℓ/ 10a					
	ケムシ類 アブラムシ類	4,000～ 8,000倍						
	シャクトリムシ類							
樹木類 (くちなしを除く)	アザミウマ類	2,000倍						
くちなし								

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1) 本剤の**かんきつ**、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意すること。
- (2) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (3) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着する恐れのある場所では使用しないこと。
- (4) ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- (5) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ① 散布は各散布機種¹の散布基準に従って実施すること。
 - ② 無人ヘリコプターによる散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないこと。
 - ⑤ 作業終了後は次の項目を守ること。
 - (a) 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - (b) 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
 - (c) 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- (6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (7) 取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。
- (8) アルカリ性の強い農薬との混用は避けること。但し、ボルドー液との混用の際は使用直前に行くこと。

◆安全使用上の注意

- (1) 誤飲などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2) 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受けること。
- (3) 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は農薬用マスク、手袋などを着用すること。
また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- (5) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払うこと。

◆魚毒性

- (1)水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用は避けること。
- (2)水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- (3)無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- (4)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。